

第一回公開シンポジウム

自然との共生、 求められる技術者像

日時／2006年11月25日(土) 14時～16時30分 参加費／無料
会場／大阪工業大学 学園創立60周年記念講堂(大阪市旭区中宮5-16-29)
●参加は、Faxかe-mailにて申込ください(裏面フォームをご利用ください)
シンポジウムのご案内、申込書は左記ウェブサイトででもご覧いただけます。

主催 大阪工業大学 工学部淀川環境教育センター
後援 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 大阪市旭区役所 奈良県川上村 大阪市旭区保健福祉センター
<http://www.oit.ac.jp/yodogawa/symp.pdf>

人の手は、生物相を変え、自然景観をも変えてしまう。
現代を生きるわたしたち人間には、
河川をはじめとするさまざまな環境に配慮しながら、
未来を創っていく技術と知恵が求められています。
大阪工業大学は、淀川下流域をフィールドとして
真に環境負荷の少ないものづくりを実践し、
持続可能な社会を実現する技術者の育成を目指して、
「淀川学(環境教育)」を構築し、実践していく取組を始めています。
本取組が、平成18年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに
選定されたことを記念し、広く地域社会のみなさんとともに、
「自然との共生、求められる技術者像」について考える
公開シンポジウムを開催します。

第一回公開シンポジウム 自然との共生、求められる技術者像

プロフィール

講演者

野村 良紀
淀川環境教育センター主幹・工学部応用化学科教授

大阪大学大学院修了、工学博士。1994年より大阪工業大学工学部応用化学科助教授、98年より同教授。2005年より、大阪工業大学教務部長を兼任。専門分野は、錯体有機金属化学、合成化学、化学教育。著書は、共著「有機工業化学第2版」(丸善、1999年)、「基礎化学」(丸善、2003年)等多数。

綾 史郎
淀川環境教育センターアドバイザー
工学部都市デザイン工学科教授

京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了、博士(工学)。京都大学助手、講師、大阪工業大学助教授を経て、1998年より現職。専門は、河川工学および河川生態環境。現在の主たる研究テーマは「河川の生態環境の分析とその保全・復元」。淀川水系流域委員会委員、淀川環境委員会委員を務めている。

パネリスト(敬称略)

土永 恒彌
株式会社タツタ環境分析センター技術顧問

1939年生まれ。大阪工業大学工学部土木工学科(衛生工学コース)卒業後、大阪市立環境科学研究所を経て、2000年(株)タツタ環境分析センター技術顧問就任。1999年より4年間大阪工業大学土木工学科で水環境学を、また、2000年より大阪女子大学理学部で環境評価論の非常勤講師を務める。参加型環境教育研究会(PeeSG)代表、水環境学会関西支部名誉理事、川部会部会長。目下の研究対象は、水質分析史、水環境教育、水と人のかかわり。

辻谷 達雄
森と水の源流館「奈良県川上村」館長

1933年(昭和8) 奈良県吉野郡川上村生まれ。15歳で山仕事に従事。71年に独立し、林業請負業「ヤマツ産業有限公司」を設立。「林業不況」に抗して後継者の育成に力を入れるとともに、自然観察指導員として都会の自然愛好家とのパイ役を、主催する「山の学校達っちゃんクラブ」は、来年(07年)に10年目を迎える。森と水の源流館では、「源流人会」会員を中心に都会の人々に、山で生きる技と知恵を体験とともに伝えている。

野田 かなえ 奏栄
大阪自然環境保全協会理事

ハウスメーカー勤務後、緑地・環境(ランドスケープ)コンサルタントへ転職。仕事を通じて始めた里山管理活動を機に、自然環境保全にかかわるNPOメンバーとしても活動を開始。6年ほど前からは淀川や大和川をテーマに市民とともにコーディネータとして学習活動を継続中。最近は大規模な緑地回復などにも市民の立場から関わり始めている。自然環境から住環境までトータルに環境を捉え地域環境・まちづくりの計画にアプローチしている。一級建築士・技術士。

小川 力也
大阪府立西野田工業高等学校教諭

専門は動物生態学。「淀川のシボレフィッシュ」イタセンバラの繁殖生態に魅せられ、研究に没頭。夜は定時制高校で教鞭を執りながら、昼はフィールドワークという生活を続ける。淀川環境委員として淀川水系の環境保全に取り組みとともに、淀川水系イタセンバラ研究会会長、環境省希少野生動物植物保存推進員を務め、絶滅の危機に瀕するイタセンバラの保護増殖に力を注いでいる。次世代への環境教育が重要な活動のひとつと考え、行動している。

コーディネーター

林 正人
淀川環境教育センター・工学部一般教育科助教授

京都大学大学院理学研究科博士後課程単位認定(退学)、1988年に京都大学理学博士を取得。Karlsruhe大学(旧西ドイツ)PDF(客員研究員)日本学術振興会特別研究員を経て、1993年に京都大学基礎物理学研究所非常勤講師、1995年より大阪工業大学助教授。専門は素粒子論。特に超対称量子重力理論の構築に取り組んでいる。

プログラム

14:00
開会挨拶
西川 禎一(大阪工業大学学長)

14:05
平成18年度 現代的教育ニーズ取組支援プログラムの紹介

セッション1
「淀川学の構築と実践がめざすもの」
野村 良紀(センター主幹・教授)

セッション2
「城北ワンド群の危機」
綾 史郎(センターアドバイザー・教授)

15:00
パネリディスカッション
「淀川学に期待するもの」

パネリスト(敬称略)

土永 恒彌
(株式会社タツタ環境分析センター技術顧問)

辻谷 達雄
(森と水の源流館館長)

野田 奏栄
(大阪自然環境保全協会理事)

小川 力也
(大阪府立西野田工業高等学校理科教諭)

コーディネーター
林 正人
(センター事業推進チーム・助教授)

16:30
開会挨拶
井上 正宗(センター長・教授・工学部長)

参加申込書

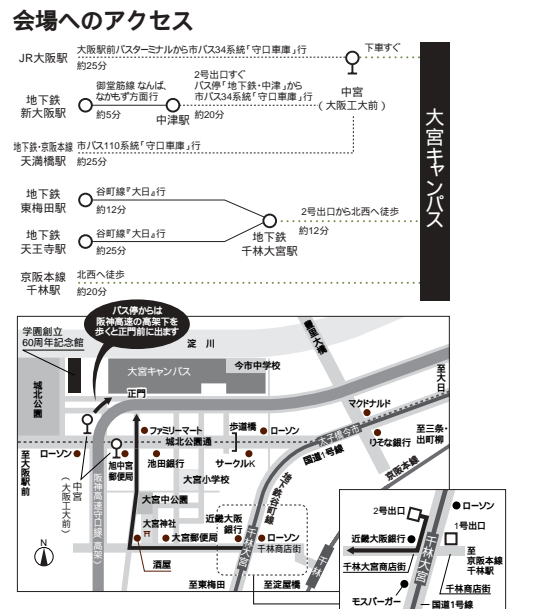
申込締切日:11/20(月)

お名前(ふりがな) _____ 年代 _____

所属 _____ ご職業 _____

ご住所 _____

返信用e-mail アドレス _____ FAX番号 _____



参加ご希望の方は、申込書フォームにご記入の上、下記センターのe-mail アドレス宛てあるいはFAXにてお送りください。受領確認の返信を送らせていただきます。

*職業、年代は、講師のお話の内容を調整するために参考にしますので、できればお書きください。
*いただいた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡以外には利用いたしません。

申込・問合せ先 大阪工業大学工学部 淀川環境教育センター事務局(教務部教務課内)
大阪市旭区大宮5丁目16-1 TEL:06-6954-4083
FAX:06-6954-4049 e-mail:kyoumuka@ofc.oit.ac.jp